

アカデミーかわら版

きらりと光る講座・WS

雪舟「秋冬山水図」より構成

いのち
の科学

つながる人のいのち

月曜 13:00 プラザ 

「我々はどこから来たのか。我々は何者なのか。我々はどこに行くのか」。画家ゴッガンが名画に残したこの問いは、「人とは何か」を解く私たちの探究心の源泉であり、この講座「つながる人のいのち」のテーマに通じるものでしょう。

生命誕生の謎に始まり、進化や遺伝、生殖のことが身近になる講座です。例えば、絶滅したネアンデルタール人も



ネアンデルタール人も祖先にもつ現生人類（ホモ・サピエンス）のユニークさとは？
（©ノーベル生理学・医学委員会）

私たちの祖先であることが遺伝子解析で分かり、昨年のノーベル受賞で話題になりましたが、講座では古代化石のDNAから

見てきた人類の進化史を篠田謙一国立科学博物館館長が語ります。

今期は特に「人類と食」に焦点を当て、食の安全とリスクをめぐる誤解や健康、食糧問題にも話題を広げます。いま学校給食はどう変わろうとしているか、人類が進出を目指す宇宙で農業ができるのかといった話も登場します。人の体を学ぶ機会がこれまでなかった方も、私たち「人」をより深く知りたい方も、新鮮な角度からの講座を受講しませんか。（コーディネーター 佐藤年緒）

美術 I

近代日本画の変遷

月曜 10:30 高津

コロナ禍の煽りを受け、高津市民館がワクチンの集団接種会場に接收され、使用できなくなり、場所と曜日を変更し、苦しい状況で美術 I は講座を継続して参りました。

岩絵の具



23 前期にはやっと高津市民館に戻れることになり、元通り月曜日に開講致します。「ただいま！」を祝して、念願だった近代日本画を取り上げることになりました。

岡倉天心、横山大観、速水御舟、竹内栖鳳、円山応挙、上村松園、鏑木清方など・・・
わくわくしませんか？

多摩美大の永田真紀先生に、各人の画業を 1 時間半じっくり講義していただきます。感性に知識が備われば、美術館に行くのがもっと楽しくなることでしょう。皆様のご受講をお待ちしております。
（代表世話人 河野千秋 記）

交流館

川崎大師平間寺と地域社会

水曜 14:00 交流館

川崎と言えば“川崎大師”。その名は全国に知られ、毎年多くの参詣者で賑わう大寺院です。その川崎大師を初めて取り上げます。

川崎大師には創建八百九十余年と伝えられる古い歴史と、門前町に見られるように、多くの人々に支えられて繁栄して来た長い歩みがあります。今期は、「川崎大師と地域社会」と題して、そうした川崎大師の歴史や人々との関係などについて学びます。

また、これまでは座学のみ講座でしたが、今回は川崎大師



平間寺で行われる「護摩行」拝観などの現地見学も交えて、色々な角度から川崎大師を学んでいきたいと考えています。どうぞご期待ください。

歴史や宗教、民俗学などに関心をお持ちの皆様には、ぜひ受講していただきたい講座です。

（代表世話人 高橋邦晴）

日本の
伝統芸能 **伝統芸能を改めて知る一名曲探訪**
シリーズ 月曜 13:30 高津

「今年は『和モノ』に触れる」のご提案
お正月のお買物といえば「福袋」ですよね。売場でこっそり隅のところを開けて中身を確認しちゃっ
う、それも「堅実なお買物」ですが、しっかり包装されたままの福袋をおうちで開ける楽しみは格別ですよ。さて、来期の「日本の伝統芸能」講座は、そんな楽しみが沢山詰まった七つの福袋をご提供します。すべて「和モノ」で、各福袋には中身を暗示する添え書きが貼られています、「悲劇のヒーロー、義経」だとか、「桜を描く名曲の数々」とか…。歌舞伎やお能、箏曲などの作品の中からテーマに沿ったセレクションをご用意しました。加えて二回、今話題の若手箏曲家の演奏会も開催します。（世話人代表 重藤和義）



女性天皇の歴史を探る

日本史 講座 火曜 10:30 プラザ
WS 火曜 13:15 プラザ

日本史上では、古代に6人8代、近世に2人の女帝が誕生しています。近年の女帝研究では、こうした事実を踏まえ、「(古代の)女帝はシャーマンである」「女帝は(単なる)傀儡・中継ぎである」としていた旧・女帝像を批判し、女帝の歴史の見直しを進めています。講座では、王権論・ジェンダー論の観点から見直された、古代の女帝の誕生から近世の「終焉」までの歴史を通観し、女帝・女性君主の歴史の現在を考えてみたいと思います。



推古天皇像

WSは「藤原鎌足から見た大化の改新～『藤氏家伝』を読む～」を学びます。大化の改新の口火を切った乙巳の変について、藤原氏を中心として記述されている『藤氏家伝』を読むことで異なる視点から複眼的に歴史を読み解けるようになる

ことを目指します。

文学

**明治期の短編小説を読みなおす
近代文学を読む**

水曜 講座 10:30 WS 13:00 プラザ

日本近代小説には漱石はじめ文豪と呼ばれる作家の数多くの作品が時代を超えた良書として存在しています。好きな作家の作品しか手にすることのない自分にとって、未知の文学作品を知り、独学では知り得ない小森陽一先生の専門的知見に触れさせていただくことは貴重な時間であり、お金は増えなくとも知的財産が増えていくことに毎回感謝です！現代の日本の諸問題を近代文学の時代背景から読み解く学びもあります。



WSは3.11の震災後の現代文学を取り上げた回もありましたが、同じ近代文学の回では文学講座と並行して受講すると時代背景が重なり作品理解に役立ちました。2022年度後期は新感覚派と呼ばれた川端、横光の作品も登場しました。ワークショップは学んだことをアウトプットしていける場ですので、脳の老化防止にも役立つと言われますし、人の数だけ読み方があり、多様な感想を言い合える自由度の高さも魅力の一つです。後半には文学と温泉を結びつけるのがお好きな講師の安藤史帆先生の、お若いながらも重量感たっぷりの解説付きです。毎回あなたも文学の沼にはまることまちがいないでしょう！

（受講生 伊藤眞智子）

活躍する
科学・技術

大規模データ発掘から探る科学と技術の未来

金曜 15:00 プラザ



これまでに経験したことのない「想定外」の現象が次々に起こり、未来への不安と期待が増大する今だから、求められるのは主観に頼って悲観的あるいは楽観的に将来を占い、論じるのではなく、科学的な根拠に基づいて行う客観的な未来予測なのです。

それを担うのは科学・技術。AIなどの優れた情報機器を活用して膨大なデータを解析し、現状はどうなっていて、今後はそれがどのように変化

して行くかを具体的に示す、最新の科学・技術の役割だと言えます。



このように、今回新たな構想でスタートする自然科学の講座です。今期は、未来予測を例にして、科学と技術の現状と今後の展望を学びます。科学・技術に関心のある多くの皆様の受講をお待ちしています。（代表世話人 高橋邦晴）

環境とみどり

木曜
プラザ

講座 10:15
WS 13:15

SDGs と環境・みどり・防災 身近な環境・みどりから持続可能な社会を学ぶ

温暖化による自然災害の頻発やパンデミックが発生する中、持続可能な社会を構築するために国連はSDGsを掲げています。こうした時代に私たちはどのような知識を得て、どのように行動したらよいのでしょうか。

講座ではみどりの課題を中心に環境学や防災学の新しい知識をやさしく学びます。今期は、生物多様性やエネルギー（潮汐発電、波力エネルギー）などの多彩な内容をラインアップしています。

生物圏・社会・経済の階層構造を示したSDGsウェディング ケーキモデル



WSでは、身近にある環境・みどりの様々なテーマを取り上げながら持続可能社会

について講義と野外研修で幅広く学びます。今期は、気候変動・環境問題（川崎市気候変動情報センター、サンゴ礁再生、環境正義と気候正義）をはじめとする様々な内容を受講生が中心となって準備しました。また、グループに分かれて、仲間とともに関心のあるテーマについて見学等の自主活動も行います。

期に1回、講座・WS合同で1日行程の野外学習（「合同講座」と呼んでいます）を行うことも「環境とみどり」の特徴です。

国際関係

講座 月曜 13:00 プラザ
WS 月曜 15:00 プラザ

日本と朝鮮半島—その歴史と現状を どのように考えたらいいの 日韓関係にどのように取り組むのか

国際関係講座・WSでは、東京大学教授の木宮正史先生を講師にお迎えします。日本と朝鮮半島との関係は、日本の安全保障にとって重要であるにもかかわらず、必ずしも良好とは言いにくいところがあります。講座では、その関係が歴史上どのように形成されてきたのか、1945年以降の南北分断（朝鮮戦争）、日韓国交正常化、韓国政治の激動、冷戦終結、歴史問題、北朝鮮の核、米中対立など、現代に焦点を当てて学びます。

WSでは、木宮正史著『日韓関係史』（岩波新書）を読んで基礎知識を得た上で、韓国では異端・少数派であり、日本では相対的に好評な著者である朴裕河（パク・ユハ）氏の『歴史と向き合う：日韓問題 対立から対話へ』（毎日新聞出版）を読んでいきます。輪読では、日韓併合、日韓協定、元徴用工、慰安婦問題などの歴史を追い、著者の問題提起をどのように受け止められるのか、考えてみたいと思います。現在も重要である地域の歴史と現在、日本との関係について、この領域の第一人者である木宮先生から、一緒に学んでみませんか。



建築と都市

フィールドワークと空間人類学
水曜 10:30 プラザ

この数年、建築と都市講座では様々な土地の建築をベースに人々の暮らし方や歴史を織り交ぜた話を



オルチャ溪谷

を伺ってきました。今回は、フィールドワーク（建築や都市空間を調査、研究）とそこで暮らす人びとの姿、建築や都市の”カタチ

（空間）”と、そこで繰り広げられる生活の”カタチ（人類学）”について、現地での実測や聞き取りを行ってきた研究者の方々に解き明かして頂きます。

これまではイタリア、地中海世界を主に見てきましたが、旅する範囲も中国、トルコ、アユタヤ、イスラム世界へと広がります。建築を足がかりとして各地の風景の発見、港町や農村の暮らし、都市の成り立ちについて考えてみます。

エクセレント I 水曜 10:30 プラザ

世界を旅する②バルカン・ツアー その1

「ヨーロッパの火薬庫」といわれるバルカン地域。歴史的にビザンツ帝国とオスマン帝国の支配を受けたヨーロッパ地域をバルカンと捉える見方もあれば、今日のトルコ領であるアナトリアまで含めてバルカンとする見方もあり、一般的にはルーマニア・ブルガリア・旧ユーゴスラヴィア・アルバニア・ギリシャ・トルコのヨーロッパ部分からなります。



「バルカン問題」にふたをしようとする列強

ってーベオグラード、ザグレブ、サラエヴォの社会主義時代』『肉を食らう(食文化)』『映画で読み解く現代ルーマニア』『バルカン半島の中世キリスト教美術』『「境界領域」モルドヴァ』等、歴史・文化・芸術ほか幅広い分野を学びます。

ーマニア・ブルガリア・旧ユーゴスラヴィア・アルバニア・ギリシャ・トルコのヨーロッパ部分からなります。

本講座では、國學院大学の藤嶋亮教授による

『「バルカン」という地域のまとまりと多様性』で全体を俯瞰した

あと、『路面電車に乗

地域協働 **「3歳～6歳の子育て」応援講座**
・教育 月曜 10:00 プラザ 

3歳になると幼稚園や保育園など子どもたちの世界は一挙に広がり、日々の新しい経験に目を輝かせる一方で、登園しづりに困る時期もあります。DX時代といわれる今、スマホは親にも子どもにも身近なツールになっています。

また、この年齢に多い病気の基礎知識や暮らしの中の思わぬ場面で起きる事故をどうすれば防く

ことができるか、各分野で活躍されている専門の先生が的確で豊かな知見に基づくお話をさせていただきます。

大切な子どもたちが心身ともに健やかに成長するためのサポートを学んでいた



地域協働
・健康

こころの健康学—認知行動療法的アプローチによるこころのスキルアップ



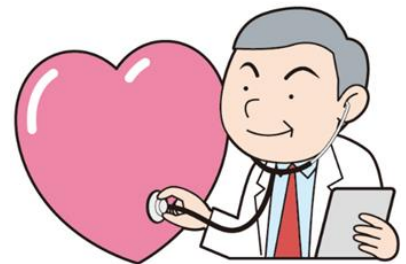
火曜 14:00 プラザ

講師 聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教授
精神療法・ストレスケアセンター センター長

中川 敦夫

こころの健康学は、いきいきと自分らしく生きるためにとても重要です。

こころの健康は、複雑で不安の多い現代社会では「生活の質」に大きく影響されます。認知行動療法は、行動科学の研究から、ものの受け取り方や考え方（認知）に働きかけて気持ちを楽にする精神療法（心理療法）の一種です。混沌とした世の中、コロナ時代継続も相俟ってストレスが高まる中、考え方を切り替えるなどバランスをとり、行動を通じて、こころに活気を与え問題を上手に解決するなど「こころのスキルアップ」のコツを学びます。



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報・地域連携部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590

HPは



FAX：044-722-5761

問合せメールアドレス：info@npoacademy.jp

ホームページ：http://npoacademy.jp/